

減らさんで、糖尿病

2021

11月14日は世界糖尿病デー

糖尿病の方が

健やかに過ごせる社会をめざし

徳島大学先端酵素学研究所糖尿病臨床・研究開発センター | センター長・教授 松久宗英

糖尿病の人は、良い治療状態が続くと健康な人と変わらず長生きできることが明らかにされています。糖尿病死亡ワーストワンといわれる徳島県においても、糖尿病に関連して亡くなられる人の多くが75歳以上です。このため、いかに良い人生を送るかが糖尿病治療の目標とされます。

皆さんの糖尿病に対するイメージはどのようなものでしょうか。病気のうちに入らない、勝手気ままにだらだら生活した報い、ぜいたく病、雇ったら全身の血管が悪くなる怖い病気など様々あると思います。少し考えてみてください、糖尿病は罹る本人が悪いのでしょうか。同じような生活を送っていても、糖尿病になる人とそうでない人がいます。その背景には本人では変えられない

遺伝的、社会的、環境的要因が複雑に関わります。糖尿病の治療では、個人の療養のみならず、適切な治療継続を支援する社会的環境が大切です。糖尿病であることを周囲に打ち明けられずに、流されて飲む食べる、外食時に血糖自己測定やインスリン注射をスキップするなど無理をして、周囲に気づかれないように治療を継続しておられる方もいます。また仕事の調整がうまくできず治療を中断することが最大の治療の障壁です。

11月14日は世界糖尿病デーです。糖尿病を正しく知り、糖尿病をもつ人は健康な人と変わらず社会に貢献できることを理解いただき、糖尿病を多様性のひとつとして受け入れる寛容な社会をめざしたいと思います。

11月14日 世界糖尿病デー ～ブルーライトアップ in 徳島～



徳島県立中央病院



阿波おどり会館



徳島県立三好病院



徳島市民病院



阿南市商工業振興センター